

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和 3 年 4 月 30 日
発信課	社会教育部 文化振興課
担当者	鈴木
連絡先	電 話 25-7558 FAX 25-8210 E-mail bunkashinko@city.asahikawa.lg.jp

分 類	イベント・行事
日 程	5 月 11 日 ～ 5 月 24 日
発表項目 (行事名)	旭川市民ギャラリー5月の展示案内について
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容 等を記入 すること。)	<p>旭川市民ギャラリー(宮下通11丁目 上川倉庫蔵囲夢内)の展覧会を次のとおり開催しますので、周知の御協力をお願いいたします。</p> <p>○ 旭川市民ギャラリー5月の展覧会</p> <p>1 展覧会名 宮竹眞澄・心のふる里人形展 主催 宮竹眞澄・心のふる里人形展実行委員会 内容 創作人形 日時 令和3年5月11日(火)～5月17日(月) 10:00～17:00(最終日は15:00まで) 入場料 一般500円, 高大生300円, 小中生100円</p> <p>2 展覧会名 花見に行こう・三堀三男写真展 主催 三堀三男 内容 写真 日時 令和3年5月18日(火)～5月24日(月) 10:00～17:00(最終日は15:00まで) 入場料 無料</p> <p>【今後の展覧会の予定(5月・6月)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第10回 舟橋天寶展 ・新ロマン派会員・会友小品展 ・市主催事業
添付資料	有 DMハガキ ※DMハガキ画像データ添付 <small>※有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。</small>
報道(取材)に当たっ てのお願い	お問合せにつきましては文化振興課(担当:鈴木)まで御連絡ください。 【文化振興課 TEL25-7558】
備 考	

宮竹眞澄・心のふる里人形展



202003 毛糸巻き巻き

会場

旭川市民ギャラリー
(大雪地ビール館横)

期間

2021年5月12日(水)
~5月16日(日)

【時間】 10時~17時

初日は15時~ 最終日は15時迄

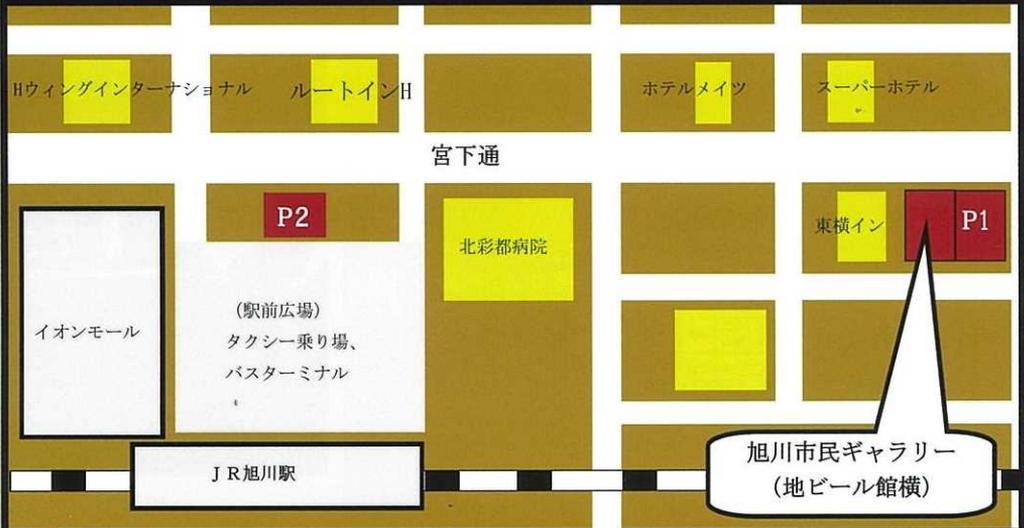
【料金】 一般500円、高大生300円、小中生100円

【主催】 宮竹眞澄・心のふる里人形展実行委員会

【後援】 旭川市、旭川市教育委員会、北海道新聞旭川支社

アクセス

旭川市宮下通11丁目上川倉庫蔵囲夢内 Tel:0166-23-3000
(旭川駅から徒歩10分、大雪地ビール館の隣り、有料駐車場有り)



旭川市民ギャラリー
(地ビール館横)

【お問合せ】 宮竹眞澄の人形工房 Tel: 0166-36-6221



202101 いらしゃいませ



私たちは新型コロナ感染防止のため以下を実践します。
①マスクの着用と手洗いの徹底 ②健康管理の徹底 ③場内の定期的な換気 ④会場内の定期的な清掃と消毒 ⑤人と人との接触機会の最小化 ⑥咳エチケットと手洗いの呼びかけ ⑦場内掲示物による注意喚起

宮竹真澄プロフィール



昭和24年、大分県宇佐市出身。教員だった父の関係で幼少から青春を宇佐市の柳ヶ浦、長洲、長峰で過ごし、四日市高校（現宇佐高校に統合）を卒業後、福岡の中村調理専門学校に進む。昭和45年に上京し沖電気(株)に入社、昭和48年に結婚退社。以後、神奈川、東京で専業主婦の傍ら、独学で人形創作を始める。平成3年に脱サラした夫と共に、一家6人で北海道上川郡東川町に移住し現在に至る。

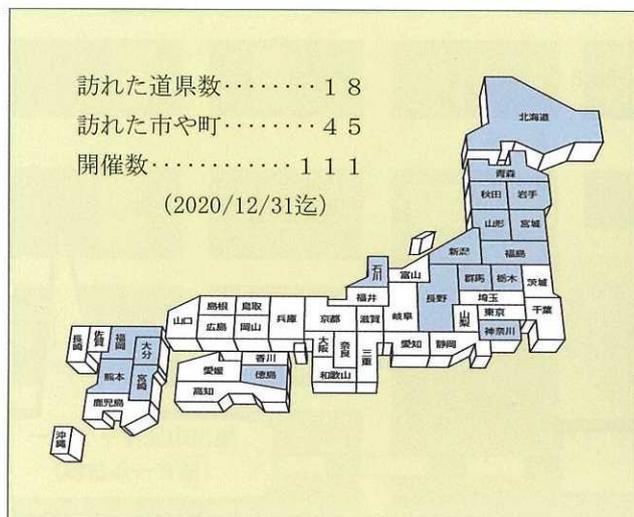
心のふる里人形展

独学で人形を作り始めたのは28歳の頃。以来、宮竹が、常に変わずテーマにするのは、明るく、逞しく生きる市井の人々。布を使わず粘土と水彩だけで創られた人形は、多彩な表現で不思議な感動の世界に誘います。幼少を過ごした浜の生活、多感な時期を暮らした農村の生活、周りには常に、明るく懸命に生きる人々がいました。高度成長からバブル期を専業主婦として暮らす傍ら、趣味で始めた人形創作は、平成3年の北海道移住によって大きく作風を変え、忘れていた故郷・宇佐での日々を思い出すように創作に没頭した。

平成20年には夫婦二人だけのスタッフで行う全国巡回展（心のふる里人形展）をスタートさせた。この人形展は、北海道から九州まで45市町で106回の開催を重ね、個人ペースの開催にも拘わらず、平成27年の北九州展、平成28年の酒田市美術館特別企画展、平成29年の東川展では施設も驚くほどの来場者を記録し、平成30年に宮崎県総合博物館での長期開催を実現させ、令和元年には、大分県立美術館で百回展を開催した。多くのイベントが自粛を余儀なくされた令和2年、規制が緩和されると直ちに活動を再開し約9000人に人形の笑顔を届けた。

一年譜一

- 1949年 大分県宇佐市に生まれる
- 1978年 独学で人形創作を始める
- 1991年 北海道移住
- 1992年 第8回人形道展 初入賞
- 2006年 第81回道展 初入選
- 2016年まで11回連続入選
- 2007年 東川町文化奨励賞
- 2008年 全国巡回展を開始
- 2018年10月までに97回の開催
- 2012年 三陸慰問展を開始
- 2015年 宇佐市合併10周年記念事業展
- 2016年 酒田市美術館特別企画展
- 2016年 道展会友（2019年退会）
- 2017年 10周年記念東川展
- 2018年 宮崎県総合博物館で開催
- 2019年 大分県立美術館で百回展開催
- 2020年 コロナ下で4回の巡回展と1回の慰問展を開催する。



会場風景（2020年11月 旭川市民ギャラリー）



こんな時こそ 花見に行こう!!

三壱三男写真展

期日 令和3年5月18日(火)~5月24日(月)

午前10時~午後5時 (最終日午後3時)

場所 九川市民ギャラリー (九川市宮下通11丁目上川倉庫蔵囲内)

